はこまち通信 クー パラ

2021.1

vol. **55**

新たな視点でまちづくりに取り組む

Mission3

生涯学習の活動支援※詳細は



お願い申し上げまる年もどうぞよろ

臨時休館日です。

からのお知らせまちづくりセンター



まちづくりセンタースタッフ全12名



特集 生涯学習の活動支援

市民活動団体のご紹介

函館生涯学習インストラクターの会

まちセンとSDGs ···P5

クーポラ便り/配布先·問い合わせ先 …P6 INFO & TOPICS …P7

センター長 丸藤の『今 伝えたいこと』 …P8







- ●まちづくりセンターで行われている講座案内や市民活動団体などの詳細は、ブログやホームページで公開中です。
- ●まちづくり、市民活動、各種助成金、移住・定住に関する問い合わせなど、お気軽にご相談ください。

生涯学習の活動支援 Mission3

地域の課題を解決するため、まちづくりセンター(以下まちセン)は2007年 のオープン以来、5つのミッションを掲げて活動してきました。2020年度は従 来の手法にとらわれず、『新たな視点』を常に持ち続けながらミッションに取り 組んでいます。今回は『生涯学習の活動支援』をテーマに、まちセンスタッフで この13年間を振り返りながら、今後について話し合いました。(2020年11月21日)

まちセンがこれまで取り組んできた『生涯学習の活動支援』を 大きく分けると、以下の3つに当てはまります。



①『学習機会』の支援

- 市民活動団体等の活動(定例会·勉強会· 講演会·写真展·絵画展等)を支援
- フリーWi-Fiの導入
- 自習スペースの提供(1階·3階)
- まちづくりの宝箱の設置 (2019年12月リニューアル)
- チラシ・ポスター掲示により、市民に『学び の機会』を提供(まちセン以外の会場も)
- 教育機関・高文連などの活動や展示を支援

②地域学習や、市民の要望による 講座の開催

- 施設見学や自主研修、地域学習で訪れる 小中高牛のみなさんからの質問にスタッフ が回答。インターンシップの受け入れなど。
- 東日本大震災(2011年)北海道胆振東部地 震(2018年)を機に「防災・減災 | をテーマに した企画展や講座を開催。

③主催事業·共催事業

- NPOまつり(2020年は中止)
- 夏休み工作フェスティバル(2020年は中止)
- NPO法人日本トイレ研究所 加藤 篤さんを 講師に招いての講座を開催(2020.10.31)
 - ※詳細はP7をご覧下さい。

2020年度の主な取り組み





函館ぶら探訪 集合場所 (箱館歴史散歩の会)

まちセンイベントカレンダー 函館道南のイベントが一目でわかる

はこだて検定を控える受験者からの 質問に答えるスタッフ (はこだて検定合格者の会)



2019年度の主な取り組み





インターンシップの様子(2019年)

北海道函館西高等学校(2019年)

photo6 まちづくりの宝箱 2019年12月リニューアル (まちづくりセンター3階に設置)







▋課題解決に向けての新たな視点

- ●小中高生の地域学習・見学への対応
 - →楽しみながら学べるまちセンらしいプログラムの提案
- ●スマホやオンラインを活用した非接触型イベントの実施
 - →スタッフのスキルアップ
- ●感染症対策をさまざまな角度から検証
 - → 最新情報の収集・冬の換気対策の徹底



ロナ禍でも動きを止めなかった 取り組みのひとつに「函館道南の小

中高生の『地域学習』への対応」があります。今 年も9~11月にかけて、地元の小中学校から見学 申し込みが寄せられました。毎年受け入れている 高校生への『地域学習』も、感染症対策を講じたう えで受け入れました。

ご希望の方には、昭和9(1934) 年に設置された 手動式エレベーターを案内しています。みなさん が大人になってもまちセンで学んだことが記憶に 残ってくれたらうれしいですね。

ピ和9年の函館大火や、その翌年にはじまった函 館港まつりのことを、まちセンの手動式エレベー ターに乗ったり、階段の大理石にさわったりしなが ら学べるのがいいですよね。まちセンをきっかけに、 子どもたちが函館の歴史に興味を持ったり、函館 のことを好きになってくれたら、このまちはもっと 変わってくるでしょう。伝える私たちも、正しい知 識をしっかりと身につける必要がありますね。

毎年秋に催される「はこだてカルチャーナイト」 は、 感染症対策を講じた『非接触型』イベントへとシフト しました。コロナ禍にあっても楽しみながら学べる スマホを使った新しいスタイルに可能性を感じまし た。『すべての年代で』実施できるかどうかは難し いかもしれませんが、まちセンでも検討の余地は ありそうです。

「まちづくりは人づくり」とよく言われるとおり、市 民の『学ぶ機会』が失われることは地域の損失でも あります。2020年はブレーキを踏むしかありませ んでしたが、ウイルスのことが少しずつ分かってき たこれからは『開催への可能性』を探っていきたい ですね。



スタッフに寄せられた 主な質問

- 函館の歴史や文化について
- 西部地区の昔と今について
- 建物の歴史や手動式エレベーターについて
- 市区町村魅力度ランキング (ブランド総合研究所による 『地域ブランド調査』)の結果や今後について
- 中核市幸福度ランキング(日本総合研究所による調査 人口20万人以上の中核市の一部が対象)の結果や今後について







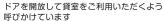
市立函館高等学校1年『地域探究』の みなさんと、説明するスタッフ

スマートフォンをかざしてQRコード を読み取る、非接触型のイベント 「はこだてカルチャ モバイルクイズラリー」 ※詳細はP7をご覧下さい。

photo9 いか・ごっこ・がごめ など、函館らしいキーワードを 記した待合スペース。エレベーター搭乗希望の子どもたちが 密にならないよう1階に待機場所を設置。 待ち時間を活用して函館の歴史などをお伝えしています。

■まちセンの感染症対策 (-例)







『今は、きょりをとって』のご案内



Hakodate Community



Design Center vol.55 2021年1月

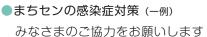
生涯学習とは、わたしたちが『生涯にわたって行う学習活動』です。 『学校教育』『社会教育』『文化活動』『スポーツ活動』『レクリエーション活動』『ボランティア活動』 など、さまざまな場や機会において行う学習の意味で用いられます。

また『生涯学習社会を目指そう』という考え方や、理念そのものを あらわしていることもあり、わたしたちひとりひとりの『生きていく姿』 そのものに深くかかわっているといえます。まちセンが啓発・推進

する SDGs(エスディージーズ) 17の目標でも 「質の高い教育をみんなに」を掲げています。

2020年度は開催を断念した活動や事業がありましたが、2021年度は『新たな日常』を取り入れながら、みなさんの『学びの場や機会』を絶やさぬよう、ひとつひとつ大切に取り組んでまいります。







市民活動団体の みなさまへ 市民活動を行う際に 役立ててください



北海道コロナ通知システム QRコードの設置

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の予防と 北海道における市民活動継続に向けた基本指針

まちづくりセンターで開催中の講座案内



書道・絵画

矢車会書道塾 まちづくり千絵画教室 絵画同好会イーゼル 油絵教室 己書道場

語学

ACTIVE 英会話

ハングル学習会 ECC ジュニア

Hakodate Community



健康

ストレッチサークレラ 田中式健康体操 木戸口教室 エゴスキュー体操



お花

小原流函館支部 池坊いけばな教室 オフィスジュリア



手づくリ

手づくリボランティア 工房「エンジョし」 吉田裕子パッチワーク教室 野呂洋裁教室



その他

丸山信子収納講座パチパチクラブ

お申し込み・お問い合わせ (講師の連絡先)など 詳細はこちら▶



「まちセンで講座を開いてみたい」という方もお気軽にお問い合わせください

☎0138-22-9700





市民活動団体のご紹介

会員募集中! 共に活動してみたい方は 気軽に各団体に お問い合わせください。



~ 時には学び、時には教える 函館生涯学習インストラクターの会



函館道南で活躍する生涯学習インストラクターやコーディ ネーターの有資格者が集まり、2002 (平成14) 年に設立。現在 は資格の有無を問わず、生涯学習に興味がある方を随時募集 しています。

活動は毎月第3木曜の『月例会』を中心に、各会員が持ち回り で担当しています。これまでのテーマは『折り紙』『絵手紙』『古 文書』『音楽』『ゲーム』『旅』『歴史』『絵画』『終活』など。会員の 体験や経験を自由に語ってもらっています。



第3回函館生涯学習フェアの展示より

[時には学び、時には教える] ことで視野が広がり、硬くなって

きている脳を少しでも柔らかくできたら、と思っています。あなたの興味は何ですか?誰かに伝えたいこと、 残したいものはありますか?まずは『月例会』(活動場所・函館市青年センター)にてお待ちしています。すべて はそこから始まります。

このほか年に一度、まちづくりセンターのギャラリーで『雨館生涯学習フェア』を開催しています。わたし たちの活動を広く知ってもらう場として、作品の展示や体験メニュー等も用意しています。

●函館生涯学習インストラクターの会

電話/090-3117-0338(事務局 奥村)

会長/濱田 愃 事務局長/奥村 茂樹 設立/2002(平成14)年4月 会員数/16名 年会費/3,000円 住所/亀田郡七飯町大川4丁目21-15

> 団体設立のきっかけや活動内容などの詳細はまちセンHPで http://hakomachi.com



FAX/0138-65-3042



まちセンとSDGs ←



はこだて×市民活動×SDGs 発行しました

函館道南で活動するNPO·市民活動団体(70団体)をPR·広報 する冊子です。各団体の活動内容の紹介に加え、SDGs17のロゴ を入れました。

地域に新たなつながりや支援の輪を広げるため、この冊子を 4年ぶりに発行しました。

まちセンHPにも掲載していますので、ご覧ください。

(発行:函館市地域交流まちづくりセンター)







クーポラ 便り

手動式エレベーターを『条件付き』で

ご案内しています

まちづくりセンターの人気スポットといえば、 昭和9 (1934) 年設置の手動式エレベーターです。 スタッフの操作で搭乗できます。

ご希望のかたは、1階インフォメーションまでお声がけください。



人数は2名様までとなっております。

場合によっては少々お待ちいただくこともありますことを ご了承ください。団体でご利用の際は、事前にお電話にて ご相談いただくとスムーズです。



人数



『はこまち通信クーポラ』の【クーポラ】とは?

教会などの屋根上部に取り付けられた、半球系の構造物を指します。

1923年に建てられた旧丸井今井呉服店函館支店をリノベーションし、2007年にオープン した函館市地域交流まちづくりセンター。その外観を印象づける『クーポラ』を広報誌でも 使用しております。



配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポラ』2021年1月 vol.55 次号は3月31日発行予定です(年4回)

発行/函館市地域交流まちづくりセンター 住所/〒040-0053 北海道函館市末広町4-19

TEL/0138-22-9700

FAX/0138-22-9800

開館/9:00~21:00

休館日/12月31日~1月3日

3月31日 (施設点検のため)

http://hakomachi.com



このほか器材点検のため月1回程度、 臨時休館する場合があります。 詳しくはセンター内やWebで お知らせしています。

建物裏手に駐車場あり。

2時間まで無料。

指定管理者/ NPOサポートはこだてグループ (2007年4月~)



『はこまち通信クーポラ』編集室だより

本年もよろしくお願いします。これまでの価値観 やアイデアがいかせず、活動できない状況が続い ているかと思います。活動を継続できるような情 報や発想などをみなさまと共に考えていきます。

(編集長/谷口 真貴)

●主な配布先(敬称略)

函館市役所1F/亀田支所/湯川支所/銭亀沢支所/戸井 支所/恵山支所/椴法華支所/南茅部支所/函館市中央図 書館/渡島総合振興局/函館市企業局アクロス十字街/ 総合保健センター/函館市民会館/函館アリーナ/函館市 女性センター/函館市青年センター/函館市公民館/函館 コミュニティプラザGスクエア/函館市青少年研修センター ふるる函館/中島れんばいふれあいセンター/函館市総合 福祉センターあいよる21/函館市勤労者総合福祉センター サン・リフレ函館/亀田交流プラザ/どさんこ交流テラス (東京 有楽町)

取材に協力くださったみなさま、施設等

『はこまち通信クーポラ』に関するご意見、ご感想を お寄せください。お名前、ご住所、お電話番号を明記の上、 メール info@hakomachi.com まで



Hakodate Community



Design Center vol.55 2021年1月

m クーポラ NFO & OPICS

再開しました

まちセン茶論

市民と移住者の集い『まちセン茶論(サロン)』を再開しています。 10:30~11:30 (午前の部) と13:30~14:30 (午後の部) どちらかを お選びください。参加費無料、事前申込制、定員各5名。

まずはお気軽にお問い合わせく ださい。はこだて暮らしコンシェ ルジュ谷口がご相談に応じます。

> [今後の予定] 1月12日(火) 2月 9日 (火)

感染症対策に気をつけて 開催しています▶

3月 9日 (火)





開催未定

水曜マルシェ

地域のみなさま、出店されるみなさまの 安全を第一に考え、12月末現在も開催を 見合わせております。

何とぞご了承ください。





再開未定: ハンドメイドでつながる 水曜マルシェ(過去の様子)

はこだてカルチャー モバイルクイズラリー

2020.9.19~10.31

2020年はスマホを使ったクイズラリーに変更されました。 この企画をきっかけに初めてまちセンを知ったという方や、 手動式エレベーターに興味をもち、搭乗した方もいらっしゃ いました。

(主催:函館商工会議所青年部)



スマホに表示される ヒントをもとにまちセン QRコードを読み取って スタンプをゲット▶

災害時に知っておきたいトイレの備え

2020.10.31

講師に『NPO法人日本トイレ研究所』代表の加藤 篤さんをお招きしました。 『避難生活がはじまって困ったことの1位はトイレの問題』という結果をもと に、実際に携帯トイレの使いかたを学ぶワークショップを行いました。参加者 のみなさんよりさまざまな意見が寄せられましたので一部をご紹介します。

- ●防災グッズに家族分の携帯トイレを追加します
- ●感染症対策も必要となりますね
- ●トイレが真っ暗という設定でのワークショップが参考になった
- ●人生初の携帯トイレ、いざ使ってみると簡単でした etc...







各種お問い合わせ∶函館市地域交流まちづくりセンター ☎0138-22-9700





Design Center vol.55 2021年1月



センター長 丸藤の 「今 伝えたいこと」

恒例、まちづくりセンター2021年の「めあて」と「合言葉」を発表します。

「めあて」は、"コモンをみがく"

コモンには、「共通の、共同の、公共の、普通の、ありふれた」という形容詞と「共有地」という名詞の意味があります。内田樹著『コモンの再生』には、「みんなが、いつでも、いつまでもつかえるように気配りがされている場」と書かれています。



私たちはまちづくりセンターという共有の 場を、力を合わせ磨き、大切にしていきます。

「合言葉」は、"レベチ"

もともとはギャル語でしたが、北海道日本ハムファイターズの中田翔選手が使うなどして、今ではよく聞く言葉になりました。 意味は「レベルが違う」。

SDGsの取組や接客、流儀、意識等、全ての面で「さすがだね!」と言っていただけるような結果を目指していきます。

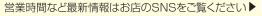
2021年も、よろしくお願いいたします。 よい一年にしていきましょう!

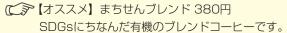


1F 喫茶コーナー cafe DripDrop

- ●営業時間/10:00~16:00 (変更の場合あり)
- ●定休日/水曜日·施設休館日
- ●自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで

一息つきませんか?







- ●営業時間/10:00~15:00 ●定休日/土日祝日·施設休館日
- ●授産製品を扱っています。函館みやげにオススメの クッキーをはじめ、布バッグや布ぞうりなどの

ハンドメイド雑貨も豊富です。

1F 福祉の店 どんぐり 2号店

(プマイオススメ) 土偶ッキー 800円(2枚×6袋入税込) [喫茶・ショップお問合せ先]

電話 0138-22-9700 函館市地域交流まちづくりセンター





